

起因物、事故の型：起因物なし - その他の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	10～11	保育中にふり向いた瞬間に男児が勢いよく頭突きし、左顔面がぶつかった。	54	130201	—
1	11～12	私服の保安警備員として店内を巡回していた時に、惣菜などをマイバックに入れ未精算のまま店外に出た初老の女性がいたので声をかけ、事務所に同行する際、女性の上着の裾を掴んでいた左手を捻られ、右手を引っかかれた為、負傷した。	50	170201	300～499
1	20～21	会社事務所でシステム開発業務に従事中に突然倒れ、救急搬送され、脳梗塞と診断された。	49	170202	300～499
1	14～15	総合牛舎育成牛房にて、育成牛の臀部をブラッシングしようとしたところ突然、その牛（メス・推定体重250kg）が頭を向けて襲ってきて、体を突き飛ばされ、左わき腹を鉄柵にぶつけ負傷した。当日は湿布を貼り痛みを我慢したが、左肋骨2本（7、9）骨折との診断を受け、後日に肋骨以外に腰部の痛みも感じ始めた。	60	70101	50～99
1	15～16	店舗の売場にて、対面販売のため、連日大きな声を出していたことにより、声帯に負荷がかかり声が出なくなり、一般のものよりも固く大きな声帯結節が生じた。	44	170209	10～29
1	5～6	朝のバスロータリーベンチ付近で倒れているところを通行人に発見され、病院へと搬送され、死亡が確認された。	39	80209	30～49
	9～	男性利用者が朝から不穏な状態で他職員・利用者に対して掴みかかろうとしたり、髪を引っ張る等の行為がみられていた。一度は他職員が止め			30～

1	10	たが、直後に再び向かって行き、髪を両手でわし掴みにし、足をかけてそのまま後ろに倒す。その際に後ろにあったダイニングテーブルの角に背中（右下あたり）を強打した。	60	130201	49
1	15～ 16	駐車場で、児童と職員で雪合戦をしていた。当該人が後ろを向いたとき、すぐ後ろにいた児童の投げた雪玉が左目に当たった。	48	130201	1～9
1	11～ 12	病棟内の廊下にて、座位姿勢の入所者に当該職員が両手首を捕まれた状態で入所者が後方へ寝転がったため、前方へ曲げる姿勢となった。そこへ別の入所者から、後方左腰部へ頭突きを受け、右前方へ倒れ込んだ。その時腰の痛みはあったが居室へ戻り、高所にある鍵を取るときに痛みを感じ、元の場所に戻す際には激痛がはしり動けなくなった。	50	130201	300 ～ 499
1	7～8	夜勤の介護業務を1人で行っていた際、深夜の記録を最後に、脳出血で意識消失し、翌朝出勤してきた介護士によって倒れている所を発見される。	47	170101	—
1	0～1	直属の上司の下で勤務するようになって以来、日常的に上司から暴言を浴びせかけられていた。仕事上のこととはいえ、少しでも意にそわない部分があると、高圧的に「違う」、「死ね」、「辞めろ」等と怒鳴られていた。また後頭部を叩く行為にも及び、強く蹴られ、かなり恐怖を感じた。当日は、精神的に限界を感じて早退した。	26	10701	100 ～ 299
1	13～ 14	工事車両を工事現場から車道に誘導する作業をしていたとき、急に胸が苦しくなり、その場に倒れて救急搬送され、狭心症と診断された。	45	170201	100 ～ 299
2	13～14	中会議室で人材採用面接業務を開始直後、応募者（A）が自分が経験したIT系企業が受付表にないと面接担当を恫喝し、面接担当の左顔面（頬）を右手こぶしで殴打した。面接担当は悲鳴を上げ、逃げようとした際さらに右足で顔面（左頬）を蹴られた。	45	170101	50～ 99
2	18～19	お客様宅へ集金業務で伺った際、お客様宅近所に駐車した自車両内で体調の不具合を感じ、体の左半分に力が入らなくなったため、救急車で病院へ搬送された。	52	80209	1～9

2	2~3	夜勤中、患者の部屋（個室）へ訪室すると、夜間せん妄により帰宅したいと強い訴えがあり、説得するも拒否あり。他スタッフへ救援要請中に患者が急に部屋から出ようとしたため、止めようとした際、首を絞められたり壁に体を強く押しつけられたりした。	25	130101	1000 ~ 9999
2	8~9	走行中、くも膜下出血を発症し走行不能になり壁に衝突し停車した。後続車の通報により病院に緊急搬送された。	42	40301	1~9
2	17~18	施設室内で自閉症の利用者がパニック状態で落ち着かせる為、見守っていたところ急に利用者が立ち上がり30cm段差がある場所上から下に突き飛ばされた。	54	130201	30~ 49
2	18~19	レジ業務中、自身の接客にてついでお客様よりきつくお申し出を受け、又、その後管理職より更に指導を受けた為精神的ショックを受けた。	32	80201	100 ~ 299
2	4~5	非常用設備更新工事に伴うトンネル内の点検整備で、2人で2時間おきに後退しながら点検を行う。1人が点検中、もう1人は車内で待機する。当日は夕方より勤務した。翌朝の後退時にいびきをかいて寝ていたため、起こさず、もう1人が点検に行き、点検後もう一度声をかけた時に異変に気づき、救急車を呼んだ。	63	170201	30~ 49
2	3~4	駐車場で強盗に遭い、首を絞められ負傷した。	67	40201	10~ 29
3	8~9	停車の際、車掌が速度が低下しないことを認め、非常引きスイッチを扱い所定位置を約3m行き過ぎて停車した。運転工に連絡するも応答しなかったため指令に連絡した。指令の指示で前頭運転台に向かったところ、運転工が血を流して倒れているのを確認し、その旨を指令に報告して、お客様を後続列車に誘導した。運転工は頭部に打撲を負い乗務継続不能のため救急搬送された。	26	40101	100 ~ 299
3	10~11	会議に出席するため新幹線で移動中、座席で持病のてんかん発作で突然意識をなくし、体が痙攣硬直して、背骨・腰骨の3か所を椎体圧迫骨折し	48	90102	—

		た。			
3	5~6	営業中、男性客1名が降車の際、料金授受のためカード機で決済中に突然、因縁をつけ小銭を投げる等の暴行をはたらきながら車外に出て、同車両のドアを足蹴りをして損害を与えたため、それをとめようと車から外に出たところ、いきなり路上に倒され、顔面を7回位殴られた。	65	40201	100 ~ 299
3	10~11	社内休憩室において、出社後更衣室で着替え、休憩室内に設置している書類キャビネットから書類を取り出したとき、目まいがして意識がなくなり、倒れて後頭部をぶつけて裂傷した。	66	80209	100 ~ 299
4	19~ 20	生徒に指導中、左にボディが入ってしまい痛みが生じた。	37	120109	1~9
4	19~ 20	納品業務での仕分けミス、及び検品の確認不足が頻発するドライバーの添乗指導期間中、口頭で注意をしたが良くなることがなく、ストレスが限界に達し暴行に及んでしまった。運転中にバインダーを投げつけたり、納品業務中に殴る蹴るの暴行をしたうえ、車庫帰着時にシフトノブ（20cm程のギア変更ノブ）で頭を小突いてしまった。	46	40301	100 ~ 299
4	3~4	特別養護老人ホームAユニット居室前ご利用者の徘徊時、他のご利用者（女性）の居室へ入室された為、自身の居室へ誘導しようとしたところ、左顔面を殴打され、メガネを飛ばされて困っている際に突進してきて左手指をつかまれ、離れようとした時に指をつかまれ捻られた。	65	130201	50~ 99
4	9~ 10	レストラン店舗内キッチンにて、オープン前の立ち上げ作業に従事していたところ、右肘と右手に痺れ、右腕に痛みを感じ、感覚がなくなってきた、後日に肘部管症候群と診断された。	31	140201	30~ 49
4	8~9	介護施設にて業務中、施設内の食堂において、男性の入居者が女性の入居者に対して、手を上げ暴力行為に至るところに仲裁に入ったとき、男性の入居者様が職員の右手をつかんで強くひねりながら右肩めがけてこぶしで殴りつけた。その際に右手の筋が延び、右肩打撲を負った。なお、入居者に負傷等はなかった。	55	130201	10~ 29

4	12～ 13	乗務中駅到着時に、知的障害者を連れた介護人が運賃を支払っている時に、後方にいた知的障害者が無言で顔面を殴打した。	54	40201	100 ～ 299
4	14～ 15	ウェラー浴室内で患者にリハビリパンツとズボンの更衣援助中、右側頭部を叩かれた。自分以外にスタッフは2人援助に入っていたが、瞬時の動きで防御する事ができなかった。認知症があり入浴前から不穏状態で、攻撃的な発言やスタッフへの暴力行動がみられていた。	30	130101	500 ～ 999
5	4～5	明け方、仕事からの帰宅途中、運転中に具合が悪くなり、道路の中央で意識がない状態で病院に運ばれ、心不全で死亡した。	35	50101	300 ～ 499
5	3～4	夜勤勤務中、入院中の患者を大部屋から個室へ移動させDVDを再生する準備をしていたところ、患者に後から両手で首を絞められた。振り解いた後も患者に髪の毛を引っ張られた。夜勤勤務中であったため、看護師の人数も少なく、災害発生時は患者と被災労働者のみであった。	23	130101	300 ～ 499
5	18～ 19	地下2階の電気室にて見積書作成のための電気配線調査中に、当社派遣社員が倒れ救急搬送された。	50	170101	50～ 99
5	23～ 24	寮生へ、居室エアコンフィルターの清掃、および清掃チェックシート提出の依頼をしていた際、チェックシート未提出の寮生Aが寮事務所前を通過したため、被災者は寮生Aに声掛けをした。寮生Aは返事をしたが、被災者は聞き取ることが出来ず、再度呼び止めたところ、寮生Aより暴行を受けた。	65	80409	30～ 49
5	9～ 10	店内でたばこを吸いだした男を注意し、店外へ出そうとしたところ抵抗され、腕を掴まれて蹴られ、腹を殴られるなどの暴行を受けた。	32	80209	10～ 29
5	12～ 13	南2病棟食堂で与薬していたところ突然、患者が職員の右頬を殴打した。しばらく様子を見ていたが腫れと痛みが治まらなかった。	41	130101	100 ～ 299
		冷凍庫で商品のピッキング作業をしていた際に、近くにいた別の職員が			

6	12～ 13	物音を聞き、その方向へ行くと当該職員が倒れているのを発見した。発見者は現場リーダーへの報告を行い、声掛けを行ったところ、意識を取り戻した。倒れた原因を確認したが明瞭な返答がなく、業務を中断して休憩へ入る様促した。その後の責任者判断により業務継続を中止し、医療機関受診、及び自宅での休息を本人へ促し帰宅した。翌日意識が無い状態で発見され、救急搬送となった。	57	170101	100 ～ 299
6	17～ 18	傷病の原因は確認できていないが、先に本人より提出された休業補償給付申請書が労基署より認定を受けたため。	40	80204	10～ 29
6	20～ 21	荷物を積み納品へ行く途中、道路を走行中にトラックが停車した。ハザードランプも付けずにトラックが橋の上に止まっているとの通報があり、警察官が向かい、車内に本人が倒れているのを見て、救急車を呼び、病院に搬送されたが、その後、心筋梗塞で死亡した。	44	40301	—
6	10～ 11	メールにて館内数値について報告した際、その内容に対して、店長が自身の業務オペレーションを中傷している内容だと感じ、店長が胸ぐらを掴んできて、左頬を拳で殴った。	44	140201	10～ 29
6	11～ 12	工場内で、ペットボトルのキャップを手作業にて取り外す作業をしていた。この業務に就いてから、同一の作業の繰り返しにより、両上肢に負担をかけ続けた結果、疼痛・痺れが出た。	49	150102	100 ～ 299
6	7～8	準備倉庫内広場にて部署の朝礼をしていたところ、突然後ろ側に倒れ、台車に接触した。そのまま座り込み、その後、横に倒れて額を地面に打った。	24	10204	100 ～ 299
6	11～ 12	営業活動のため社有車を運転中に発症したものである。青信号で左折した際に意識を失い（脳静脈の疑い）、赤信号で停止していた対向車線の車両に追突した。なお、本人が意識不明の状態であり、負傷・事故状況については推定で記載している。	38	80209	1～9
6	8～9	デイサービス利用者宅に車でお迎えに行き、利用者を後部座席に座らせ、シートベルトを装着しようとした際、認知症の症状がある男性利用者に右腕を掴まれ、振り払われて右腕の外側と右肩を痛めた。当日はそ	25	130201	50～ 99

		のまま仕事をしたが、翌日になって痛みが増した。			
6	8~9	服薬支援中、知的障害のある男性利用者が服薬支援中の支援員と目が合うと、突然背後から頸椎を殴った。殴られたことにより、頸椎捻挫と末梢神経の麻痺が起きた。	33	130201	30~ 49
6	13~ 14	給食後、4階の教室から1階の配膳室へ牛乳瓶を返却するために階段を下りていた際、児童が左側を歩いていたので、右側を歩くように促したところ、3階~2階の2段目辺りで、児童が前を横ぎることになり、足が接触し、そのまま足を踏み外した。	44	120109	50~ 99
6	8~9	立て膝で子供と向き合っていた時、後ろを通った子供に脛脛上部を踏まれて負傷した。	47	130201	30~ 49
6	17~ 18	園の遊戯室にて防犯訓練の為、警察の方から指導を受けている時、護身術の一つで後ろから抱きつかれた時はどうするかを2人1組で実践中、抱きつく役になった職員がグッと力を入れた際、右の脇下に痛みがはしたが、ふさぎ込むほどではなかった為、その日は業務に戻った。鈍痛はずっとあったが、翌日も出勤した。その夜から痛みが増し、肋骨骨折と診断された。	51	130201	—
6	8~9	施設内2階のご利用者フロアにおいて、認知症ご利用者の左横に座って食事介助をしていた。ご利用者が右足を上げた時、被労働者の左膝に当たり蹴られ、翌日から患部が腫れた。	57	170101	100 ~ 299
6	0~1	勤務中、道路を塞ぐように加害者二人が立っていた。その内の一人がひどく興奮気味に絡んできたので、注意しようとしたらいきなり暴行を受けた。	43	40201	50~ 99
7	2~3	市内からお客様を乗せ途中前に現れた車が蛇行、急ブレーキ等を行い、交差点を前車に続き左折、左折後車両に急停止され自車も停止。相手が車から降りてきて煽っただろう、窓を開けろと騒いだため仕方なく窓を開けたところ、右手で3回殴られた。	46	40201	100 ~ 299
		当院内にて、暴れる患者を拘束・移送の際、右膝を蹴られ受傷した。移			50~

7	17~18	送の時に腰痛、右大腿後面のしびれ、右手首に痛みを生じ、様子を見ていたが症状が改善しなかった。	54	130101	99
7	23~24	配達先に到着、納品を完了し空バット回収中、店舗駐車場内、車両後方に倒れている本人をお客様が発見し救急車を呼ぶ。店舗から連絡を受け、すぐに派遣元担当者へ報告、その後の対応を依頼する。派遣元担当者を通じ診断書の提出を依頼中、亡くなられたとの連絡を派遣元担当より受けた。車→3tトラック	56	40301	~ 299
7	11~12	国納において作業中にホコリが目に入ったためペーパータオルで目を拭いたところ角膜等に傷を付けてしまった。	24	130201	10~ 29
7	5~6	派遣先である製造現場内で社員の方から指示を受ける際に意見の相違があり口論に発展した。その後、社員の方から帰宅を命じられると共に肩を強く押された。強く押された時にバランスを失い現場内の成形機（5号機）のデクスター付近に左上腕部を強打した。その後痛みがあった。	29	170101	300 ~ 499
7	19~20	組立ラインへの部品供給作業を行っていたら、自動運搬車が間違えた所を走行していたので止めようとして2段ある踏み台から通常の速さで降りて普通に歩き始めた時に左足のふくらはぎに痛みがはしり負傷する。	43	11502	500 ~ 999
7	13~14	以前疥癬感染症が施設内で発生し、終患宣言を行った。その後も継続して皮膚状況を含め全身状態のチェックを行っていたが、利用者の両手に丘疹ヒ結節を認め掻痒感が強くみられたため受診したところ疥癬との診断を受ける。職員に同症状が見られたため皮膚科受診となる。	32	130201	100 ~ 299
7	9~10	生産日報の書類を回収中に立ちくらみによって転倒し土間に右ひざをぶつけて骨折した。	54	11209	50~ 99
7	8~9	現場到着（出勤）し、作業ミーティング（朝礼）後、作業を開始した。本人が倒れたのを他の作業員が発見し、救急車で病院に搬送。「急性くも膜下出血」との診断を受ける。	66	30111	1~9
		遺族からの労災補償給付請求について、労災申請に関する意見書を提出し、業務上外認定の調査および判断に委ねたところ、下記（1）（2）に			

7	12~13	より業務上の負荷が増加し、精神疾患に罹患して自殺するに至った、として業務上認定がなされた。(1) 所長(部下13名)となり、業務に変化が生じたこと(2) 職場の警備システムや当該社員が使用していたパソコンに記録された時刻から、在社時間が長時間に及んでいたこと	52	30309	10~ 29
7	13~14	事務室入り口にて、事務所内にいる職員と業務の打ち合わせをしていたところ、後方より利用者から後頭部を殴られ、頸椎を捻挫した。	39	130201	30~ 49
7	17~ 18	ホームで月曜日配達分の荷物を積み込み中突然倒れた。	52	40301	10~ 29
7	13~ 14	作業所加工場屋外で塗装作業中に床に倒れかかっているところを発見し病院へ連れて行った。	63	30203	1~9
7	8~9	会社建物脇にて、あお向け状態で倒れている被災者を発見した。被災者は、会社屋上より飛び降りたものと思われ、全身を強打し死亡した。	44	40301	10~ 29
7	14~ 15	当法人が運営する障害者支援施設(鉄筋コンクリート造3階建)建物内において、障害者の問いかけに答えを保留し、後に上司を通じて答える旨を約束して、1階フロアの職員室へ戻るべく階段を下りたところ、追いかけてきていきなり顔面を殴打され負傷した。	59	130201	30~ 49
7	8~9	老人ホームへの移動販売の為、通常出勤時間より準備のため早出出勤して移動販売先に向かい、再度商品を運ぶ為に店舗に戻ったところ、急に気分が悪くなり、意識が朦朧とし、救急車で搬送された。移動販売は月に2回程度あり、数か月前から移動販売担当となった。発症前日も準備のため、40分程の残業をしている。	71	80209	10~ 29
7	11~ 12	当院病室において、上司からの指示で新規入職の職員に業務の説明・指導をしていた最中、病室内に同僚が入ってきて清掃業務にあたるよう言われた。行うべき業務を上司に再確認しようと廊下に出たところ、突然、同僚に左肩あたりを強くたたかれ、その勢いで背後にあった荷物に左腕を強くぶつけ負傷した。	59	130101	300 ~ 499
		被災者は、OBの就労支援としての二軒目の飲食店にて、2年ほど前より			

7	9～ 10	就労し始めた。当初は二人体制だったが、他の一人の予定変更と本人の希望もあり、程なく一人体制となった。一人での裁量はあったが（開閉店時間等）、結果として、時間外労働が月80～100時間を超えることになり、開店準備中に倒れ、病院に搬送されたが死亡した。	38	140201	1～9
7	8～9	朝の体操終了後の朝礼中、体調不良により直立姿勢のまま後ろに倒れ、その際に後頭部を床に打って意識を失った。検査の結果、肺炎になりかかっていたことが判明した。	43	11502	1000 ～ 9999
7	14～ 15	中学校グラウンド中央で、特別支援学級生徒が綱引きに参加するため、活動を見守っていた。その際、綱引きの中心線を踏んでいる職員がいなかったため、被災者が綱を踏んだ。開始合図時に右足から飛ばされ転倒し、左腰を強打した。	64	120109	10～ 29
7	17～ 18	生産管理業務を担当していた被災者は、上司による日々の業務指導から始まる業務の適正な範囲を超えた発言により、過度の精神的なストレスを受けた。疲れが溜まり、精神的にも身体的にも苦痛となり、病院へ行ったところ、うつ病と診断された。	48	10104	50～ 99
7	12～ 13	分娩室で、分娩のため産婦を分娩台に乗せ、分娩体位をとっている際、産婦の左側に立ち、分娩間接介助のため、外回り援助の作業中、陣痛発作が発来した。突然、産婦に左手首を強く握られ、思い切り外側へ捻じられた。そのまま発作が治まるまで放してもらえなかった。	58	130101	50～ 99
7	8～9	事業場にて、被災労働者が利用者（障がい者）の作業室のゴミを収集していたとき、そこにいた利用者（男性、18才、自閉症、療育手帳A）に突然、体を突かれ、机で腰を強打し打撲した。	23	130201	30～ 49
7	8～9	事業場にて、利用者（男性、18才、自閉症、療育手帳A）が、同僚支援者に他害行為をしたため、被災労働者が当利用者を止めに入ったところ、体を何度も強く突かれ、胸の辺りから腰にかけて打撲した。	23	130201	30～ 49
7	12～ 13	被災者は、現場事務所内にある資材置場で、廃材ケーブルの引取撤去作業に立ち会っていた。引取業者に対して安全指導を行い、作業終了後の打ち合わせを行っていたとき、突然倒れた。	57	30301	10～ 29

7	11～ 12	労働者派遣先である工場内にて、クリーニング済みのシーツや衣類を畳んでいたとき、目眩・頭痛・足のしびれ等が発生し、熱中症と診断された。	54	170101	300 ～ 499
9	15～ 16	車両の使用についてトラブルがあり、同僚の主任から呼び出されて、休日にドッキング場へ行って話をしたところ、同僚の怒りが収まらず、髪を掴んで張り手や投げ飛ばすなどの行為を受けた結果、後頭部骨折、外傷性くも膜下出血と診断されたものである。	27	40301	100 ～ 299
9	17～ 18	病室にて不穏患者対応中に主治医より胴・両上肢拘束指示あり、準備の際に屈んで拘束準備をしていたところ突然患者が顔面を足蹴りした、鼻骨を骨折及び切創。	46	130101	500 ～ 999
9	0～1	泥酔したお客様が帰る際、外へ連れ出すのを手伝い、外へ連れ出した途端、泥酔したお客様が怒り出し殴りかかってきた、その際、手を振り払われたことで骨折した。	22	140209	10～ 29
9	11～ 12	保育所園庭にて、綱引きの軍配のためセンターを右足で踏んでいた。綱が引き合った瞬間に後ろ向きにとばされ倒れ、右手を骨折した。	56	160101	—
9	5～6	荷をおろすためにトラックの列に並んで待機中、順番が廻ってきたのにトラックを動かさないのを不審に思った会社の同僚がトラックに近づき中を見たら運転席で動かなくなっている被災者を発見した、救急車を呼んで近くの病院に搬送したが急性心筋梗塞により死亡した。	59	40301	1～9
9	0～1	校内の草刈り、剪定、落ち葉の清掃等の環境整備を行っているが、最初に足に違和感があり痛むため、整骨院に通っていたが、完全によくならず仕事を続けていた、その後、手の腫れがあり、仕事ができない状態になり、整形外科を受診し、「両手根管症候群、左変形性膝関節症、変形性膝関節水腫」のため、4週間の安静・治療が必要であると診断された。	62	120109	10～ 29
9	21～ 22	入所者（男性）が3Fホールにて上半身裸でいたので、上着を着るように促した際、入所者の方の癪に障り右顔面を殴られた、その日は夜勤シフトだった為、勤務明け後病院を受診した。	54	130201	30～ 49

10	11~ 12	包装作業場にて、から揚げ製品の計量、袋詰めシール、包装作業をしていたところ、次々と流れてくる製品に対応しきれず、袋詰め包装作業する物がたまっている状態となった為、近くで作業していた他の職員とトラブルになり、カッとなったその職員に体当たりされ、転倒し負傷した。	58	10102	10~ 29
10	10~ 11	店舗の外でカゴ車を移動していたところ、突然左後ろからカッターナイフのようなもので切りつけられたもの。	37	80209	10~ 29
10	4~5	走行中（タクシー営業中、空車）道路前方をフラフラと歩く男性二人がいた。男性二人が十字路で道路左側に寄ったので、その横を徐行しながら通過した際、うち一人がいきなり車両側面を足で蹴った。蹴った男性を呼び止めようとすぐに停車し、車を降りた際（声を掛けながら近付いた瞬間）、左顔面を殴られ、右足を蹴られ、体を振り回される等の暴行を受けた。暴行者は1人。片言の発言した様子から外国人ではないかと感じた。この暴行により全治1カ月の怪我を負った。男性二人はその場から逃走した。	56	40201	100 ~ 299
10	12~ 13	被災者は、施設1階の食堂で与薬をしていた。口腔内に薬の残りがいないか確認しようとし、最初はハッキリ見えなかったため再度見ようと利用者本人に接近したところ、利用者に左頬を強く叩かれ負傷した。	50	130201	50~ 99
10	14~ 15	事務所にて、当日仕事がないため事務所内の倉庫で片づけをしていた。その際、下に置いてあった一斗缶を棚の上に置くために持ち上げた所、右肩に痛みが出た。	48	30209	1~9
10	9~ 10	車両に荷物の積み込み中、気を失い車両の横に仰向けに倒れ頭部の出血と腰の2ヶ所の骨折につき治療を受けた。	64	40303	10~ 29
10	19~ 20	バス停を出発し、ロータリーをUターンした辺りでノロノロ運転になりエンジンストする。その後エンジンをかけ直し、再出発しようとするが、異変にお客様が気づき、端に寄せて止まりましょうと促されパチンコ店手前のゼブラゾーンに停車した。お客様に大丈夫ですか！扉を開けてくれますか！と声をかけられ扉を開けた後、エンジンを停止させ、運転席でう	57	40202	100 ~ 299

		つ伏せになった。			
10	10～ 11	テレビの調子が悪いとのクレーム対応のため、店長とお客様宅を訪問した際、テレビの映り具合を確認後、お客様にテレビの状態について説明をしていたら突然お客様が店長に暴行してきたので止めようとしたところ、右腕の二の腕部分を殴られそのあと右太ももを蹴られ負傷した。すぐに警察に被害届を出した。	52	80209	50～ 99
10	13～ 14	事務所の2階の事務スペースでPCにて設計の作業中に椅子より滑り落ちる感覚で床に倒れた。(右被殻出血) 原因としては慢性的に長時間労働が続いていたためと思われる。	36	170209	10～ 29
10	14～ 15	利用者と着席しレクリエーションの一環として五目並べをしていた時、トイレから出て来た別の利用者に後頭部を1回こぶしでおもいっきりなぐられた。	57	130201	1～9
11	9～ 10	仕事の引き継ぎをしている際に、貧血を起こして倒れ、右肋骨の骨折、および、頭部の腫れ。 ※床、手摺りに身体を打ちつけた。	56	130201	10～ 29
11	21～ 22	当社乗務員である被災者は、走行中の車内において、男性乗客とトラブルになり後部左側から右足で軽く運転席の背もたれに蹴りを入れられた。これにより、被災者は体に痛みがあるとのことで病院を受診し、外科で頸椎捻挫の診断、翌日には別の病院で適応障害の診断を受け、治療・通院を開始し、業務を休業した。	48	40201	100 ～ 299
11	5～6	単身赴任して三年目、仕事も生活も安定していたが、思いがけない会社不祥事の発覚で、公表の前後数ヶ月間は事業所やグループ会社の内部調査、報告の特命を受け、通常業務外の出張、会議、事務処理等が続き、疲れている様子だった。発症当日も出張し、自宅で就寝中、明け方に激しい頭痛で目覚め、立ち上がろうとしたが立てず、呻き声に妻が異変を感じて119番に連絡し、搬送された。尚、先日、出張先から帰宅中、突然右後頭部に強い刺激痛があり、右目に異状を覚えたが、今となればこれが前兆かもしれない。	44	170209	500 ～ 999
		駅発、大学行きを運行中、終点の大学病院・大学にて乗り込んでいた相			

11	19~ 20	手方に声を掛けたところ、逆上して怒鳴り始め、動こうとしなかったため、営業所へ連絡し状況を報告し、助役の到着を待っていた。その後、相手方が運賃を払わずに降車しようとしたため、「運賃を頂いてないですよ。」と声を掛けたところ、右前腕部を殴られたものである。	51	40202	100 ~ 299
11	9~ 10	学校付近交差点信号停車中、車内の男子生徒（養護学校生徒）が運転席フロントガラス方向に向かって来た。安全確保のため制止しようとしたが、生徒が暴れだし体全体を強く打ち腰を捻ってしまった。	55	40202	100 ~ 299
11	16~ 17	製品の漬物の発送及び製品の品質管理について上司と話し合いを行っていたが、途中意見の違いから口論となり上司より一方的に暴力を受け負傷したものである。	57	10109	1~9
11	19~ 20	ホテル宴会場にて発生した。宴会を盛り上げようとした催しの最中、年1回の社員旅行は社員が一同に集まる場であり、会社から幹事に行き先・催し等を決めてもらい行っている。また幹事に関しては、会社が事務方に依頼している。今回の幹事は被災労働者と他1名を選んだ。担当した被災労働者は去年より場を盛り上げようとして、競争を取り入れたパンの早食いに参加し、パンで喉を詰まらせた。他の従業員がトイレでホテル従業員に心臓マッサージ等蘇生行為を行われている被災労働者を発見し、病院に搬送するが意識がない状態、また脳にも呼吸が出来なくて起きた損傷がある。手術によって取り付けられた心肺機により現状維持していたが、その後、死亡した。	66	80409	10~ 29
11	22~ 23	男性2名女性2名のお客様グループ内の内輪の揉め事を契機に、グループ内の男性1名が暴言を吐き暴れ出したため、大声を聞いたエリアマネージャーが現場へ駆け付け男性を落ち着かせようと話をしたが制止できず、フロントにいたアルバイト（被災者）へその男性がフロントの外から声を掛けてきたため、受け答えできない事を伝えるとフロント内に男性が侵入し、右こぶしで被災者の頭の左側を叩き負傷した。	23	140309	50~ 99
12	20~21	業務上1日2~3本レッスンを実施し、1本45分間のどを使用していた。声を継続して出している為、負担がかかってしまった。	25	120109	30~ 49

12	16~17	巡回中、万引き犯を発見し、外に出て声を掛けたところ、犯人が急に殴りかかり、柔道技をかけ、左鎖骨を骨折したものである。	27	170201	30~ 49
12	15~16	当社店内に於いて、年末の忙しい中、品出しを一人で担当していた。たくさん歩いたことが負担になり、足が腫れてきて骨折していた。いつも履いている靴が汚れていたため、幅の狭い靴を履いていたことも負担になってしまった。品出しは5段台車にパック詰め肉を目いっぱい載せて店頭並べていた。普段は1日一人で担当することはないが、この日は一人でやっていた。	50	80209	100 ~ 299
12	9~10	事業所の厨房内にて開店準備の作業中、突然激しいめまいに襲われ転倒し、救急搬送された。	56	140201	1~9
12	9~10	朝、観光施設に出勤し、事務所で仕事の準備をしているとき、体の異常（ろれつが回らなくなる）を感じ、家族と支配人に連絡し、救急搬送となった。	67	140309	50~ 99
12	20~21	前日に上司からパワハラを受け、当日は業務も忙しく、精神的に追いつめられ、意識を失い倒れた。	20	140209	10~ 29
12	12~13	作業所2階事務所にて昼食時間中、利用者が机にあった湯飲みを突然払い落とした。床にこぼれたお茶等を片づけるよう他の職員が利用者に指導したところ、指示通りに従ったが、雑巾を洗うため本人がトイレに向かったとき、突然利用者が本人を突き飛ばし、本人の右脇腹が洗面台に強打され負傷した。	46	130201	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html